

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	公民	科目	公共	単位数	2	学年・学科	I学年(全学科)
教科書	東京書籍「公共」 二宮書店「現代地図帳」		副教材	東京書籍「公共」・準拠ワークノート			

学習目標	<p>○現代の課題について考えるために、諸資料から必要となる情報を調べてまとめる技能を身に付けます。</p> <p>○現代の課題解決に向けて判断材料となる考え方や多面的に考察し、公正に判断する力と論議する力を身に付けます。</p> <p>○現代の諸課題を主体的に解決する態度とその能力を涵養し、現代社会に生きる人間として、国際社会においても人権や主権を尊重し、協力できるスタンスを身に付けます。</p>
学習方法	<p>○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。</p> <p>○グループワークや発表といった共同学習をとおして、学びあう活動を行います。</p> <p>○主に復習として、ワークノートや問題プリントの演習に取り組みます。</p> <p>○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 知識・技能	現代の諸課題を発見し、考える力を涵養することを趣旨とし、そのための情報の選択や判断する理論の理解度を身に付けることも趣旨と捉える。また、倫理的立場にたち活動する情報を調べまとめる力も修得することも併せて評価の観点とする。	前期中間	35 %	25	10
			前期末	35 %	25	10
			後期中間	35 %	25	10
			後期末	35 %	25	10
	b 思考・判断・表現	現代社会の諸課題の解決に向けての選択や判断を、公共的な社会空間での基本的スタンスを用いて、多方面から考え公正に判断する力を評価の観点とする。異なる意見(議論)を調整し、合意形成や社会参画を視野に考えることができる正義感も評価の観点とする。	前期中間	35 %	20	15
			前期末	35 %	20	15
			後期中間	35 %	20	15
			後期末	35 %	20	15
	c 意欲(主体的に学習に取り組む態度)	よりよい社会の実現に向けて、様々な公共の空間で生きる公民として国民主権をもとに現代の諸課題を主体的に解決する姿勢を評価の観点とする。 知識や技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身に付けるために粘り強く取り組むなかで、自らの学習をより有意義なものにしようと努力する姿勢を評価の観点とする。	前期中間	30 %	10	20
			前期末	30 %	10	20
			後期中間	30 %	10	20
			後期末	30 %	10	20

学期	単元名(題材)	学習内容(小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1部 「公共」のとびら	・現代社会に生きる青年の特徴と社会への参画について学びます。	○	○	○	a:現在の自分を知り、よりよい公共の形成者としてのあり方や憲法や民主政治の原理や役割の知識を根拠や手がかりとして、様々な資料やデータを客観的に読み取り、特徴や傾向、予測される問題等を推測できる技能を身に付けている。 b:現在の自分が持つ特質や現代社会の特質や問題について考え、少数の意見にも耳を傾け、正義感を持って判断し、それを表現できる。 c:青年期が持つ特質や私たちが生きる様々な公共を形成している原理を意欲的に学ぶ姿勢や課題解決に向けて様々な技法を用いて意欲的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第1章 公共的な空間をつくる私たち	・社会的な関係のなかで生きる人間について考え、学びます。	○	○	○		
	第2章 公共的な空間における人間としての在り方	・幸福の原理や正義の原理について学びます。	○	○	○		
	第3章 公共的な空間における基本原理	・民主主義の原理について学びます。	○	○	○		
	第2部 自立した主体として社会として社会に参画する私たち	・日本国憲法の基本原則について学びます。	○				
		・民意を反映した政治の実現について考え、学びます。		○	○		
	第1章 民主政治と私たち	・世界の政治体制について学びます。	○		○		

前期末	第2章 法の働きと私たち	・法律と社会規範の成立や役割について学びます。	○	○	a: 法律の役割や執行、法律と生活、経済、生活についての実態や課題について理解や知識を深め、道徳やマナー、法的ルールどちらにゆだねるのかを判断する技能や資本主義の特徴や歴史から得た知識をもとに、現在から将来にわたり、経済発展が国民の幸福にもたらす方策を探求する技能が身につけている。 b: 法律や経済活動に関する知識や探求する技能をもとに、新しい問題・特質について考え、少数の意見にも耳を傾け、正義感を持って判断し、それを表現できる。 c: 積極的に憲法や法、道徳、経済活動の原理を論理的に学ぶ姿勢や課題解決に向けて様々な技法を用いて意欲的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第3章 経済社会で生きる私たち	・市民生活と法の関係について学びます。	○	○		
		・消費者の権利と責任について学びます。	○	○		
		・司法のしくみと役割や司法参加の意義について学びます。	○	○		
		・私たちを取り巻く経済について学びます。	○	○		
		・市場経済のしくみについて学びます。	○	○		
		・戦後日本経済の歴史について学びます。	○	○		
後期中間	第3章 経済社会で生きる私たち	・日本の経済構造の特徴や日本の農業の歴史、課題や将来性について学びます。	○	○	a: 日本経済の構造や農業について、金融・財政の役割、社会保障の役割、労働者の権利について知識や理解を深め、それが将来にわたり国民や地域の幸福にもたらす方策を探求する技能が身につけている。 b: 経済構造や農業、中央銀行、社会保障や労働者の権利等の特徴やデータ、グラフの推移を読み取り、より幸福で豊かな国民生活のあるべき姿に対する意見を広く聴き、判断し、それを建設的に自分の考えを表現できる。 c: 主体的で積極的に日本経済の構造や農業、金融、財政の役割、社会保障の役割、労働者の権利について、論理的に学ぶ姿勢や課題解決に向けて様々な技法を用いて意欲的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第4章 私たちの職業生活	・金融のしくみや働きについて学びます。	○	○		
		・中央銀行の役割について学びます。	○	○		
		・財政の働きと課題について学びます。	○	○		
		・社会保障の役割について学び実態や問題点、課題についても学びます。	○	○		
		・働くことの目的や意義について学びます。	○	○		
		・多様な職業選択について学びます。	○	○		
		・労働者の権利について学び、実態や新しい問題についても学びます。	○	○		
後期末	第3部 第5章 国際社会と人類の課題	・国際社会の成り立ちについて学習します。	○	○	a: 国際連合や平和主義と冷戦、冷戦後の世界と日本の結びつき、国際紛争と国際平和との関係性、貿易のしくみや国際社会の諸課題に理解を深め、知識を習得し、先進国に生きる21世紀の主人公として世界の諸課題や問題の解決を図る方策を探る技能を身に着けている。 b: 国際連合の目的や世界平和の実現と日本の平和の維持、それを達成するための貿易を中心とした国際経済の在り方について考察し、様々な意見を聴き、調整するとともに、判断し表現する力を身に着けている。 c: それまでの公共の授業をどうして培った、技能や判断力、表現力、思考力を応用的に活用して、意欲的に、主体的に学び、思考している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	・国際連合の役割について学びます。	○	○			
	・日本の平和主義と冷戦について学びます。	○	○			
	・冷戦後の世界と日本について学びます。	○	○			
	・現代の紛争とその影響について考えます。	○	○			
	・平和な国際平和の実現に向けて考えます。	○	○			
	・貿易のしくみについて学びます。	○	○			
	・国際社会の諸課題を考えます。	○	○			